

教養部会准教授 加藤 智也

1. 研究活動

「Facebookをゼミで活用」	2015. 10. 5	教育家庭新聞 教育マルチメディア号 第22回ICTキャンパス	子どもとITとの関わりを研究するゼミナールにおいて、Facebookを導入したねらいや効果などについて取材を受けた。新聞では学生自ら考えて能動的に取り組み、ゼミナールに対して素強い参画意識が生まれるようになったことを中心に紹介された。
「商品開発における企業と顧客の価値共創」	2016. 3. 31	「名古屋芸術大学研究紀要」第37巻	本研究では、ソーシャルメディアを使って企業が顧客と価値を共創するための商品開発手法に着目し、事例を調査・類型化することにより、特徴や問題点を明確化し、今後の可能性について論ずる。以前より顧客参加型商品開発という取り組みが期待されてはいたものの、事業として継続性がなく休止・撤退するケースも多々あり、伸び悩み原因を解明し事業モデルを確立できれば、企業・顧客にとって極めて有益である。

2. 教育活動（教育実践上の主な業績）

大学院授業担当 有 無

授業科目名 情報リテラシーⅠ／情報機器の操作		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	テキストの補足説明資料、理解度を確認するオリジナル課題、内容理解を促すスライドなどの作成 シンクライアント環境の活用 ファイルサーバの活用	
授業科目名 情報リテラシーⅡ／マルチメディア・コンテンツ		
◆前期 ◆後期		
工夫の概要	教材・資料等の概要	
少人数で授業展開し、スキルがまちまちの学生に対してレベルにあった指導を行うとともに、学生同士で教えあうことで理解を深められるようにした。	具体的には学生オリジナルのデジタル教材を完成させることをゴールとするが、やる気を高めるような見本となるコンテンツを提示し、制作方法理解を促すスライドなどを作成 シンクライアント環境の活用 ファイルサーバの活用	

授業科目名 ゼミナールⅢ、Ⅳ	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
Facebookを中心としたソーシャルメディアの活用をゼミナールで推進することにより、研究に関する情報の効果的な共有を可能とし、議論を深めることに役立った。また、学園祭や幼稚園現場などにおいて、制作したデジタルコンテンツを積極的に披露し、その有効性を実証した。	研究計画書および論文の書き方、発表資料の作り方に関する資料、見本や、ソーシャルメディアに関するマニュアル、ガイドラインを作成した。
授業科目名 インターネット・コミュニケーション	
◆前期 ◆後期	
工夫の概要	教材・資料等の概要
授業で使用するPowerpoint教材などをWebで公開することにより、授業内容の理解促進、授業進行の効率化、予復習での活用などで効果を上げた。また、理論面だけでなく、実際にさまざまなインターネットサービスを活用させ、実践力の向上にも努めた。	内容理解を促すスライド、授業内容把握度を確認するチェックシートなどの作成 LMS、Webサーバ、ファイルサーバ、メールなどの活用

3. 学会等および社会における主な活動

情報文化学会	2000～	会員
経営情報学会	2002～	会員
日本社会情報学会	2002～	会員